

一般社団法人 茨城県建築士会

令和7年度 第4回 まちづくり委員会 次第

と き 令和8年2月10日(火) 午後3:00～

ところ 水戸市笠原町 978-26 『茨城県市町村会館』 2階 中会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 委員長あいさつ

4 議 題

1) 会員増強運動について

2) 過去の被災地の現状を探る街歩きの計画

3) その他

5 その他

6 閉 会

令和7年度 新入会員の一覧【正会員 and 賛助会員】

資料-1

【正会員24名、賛助会員9社】

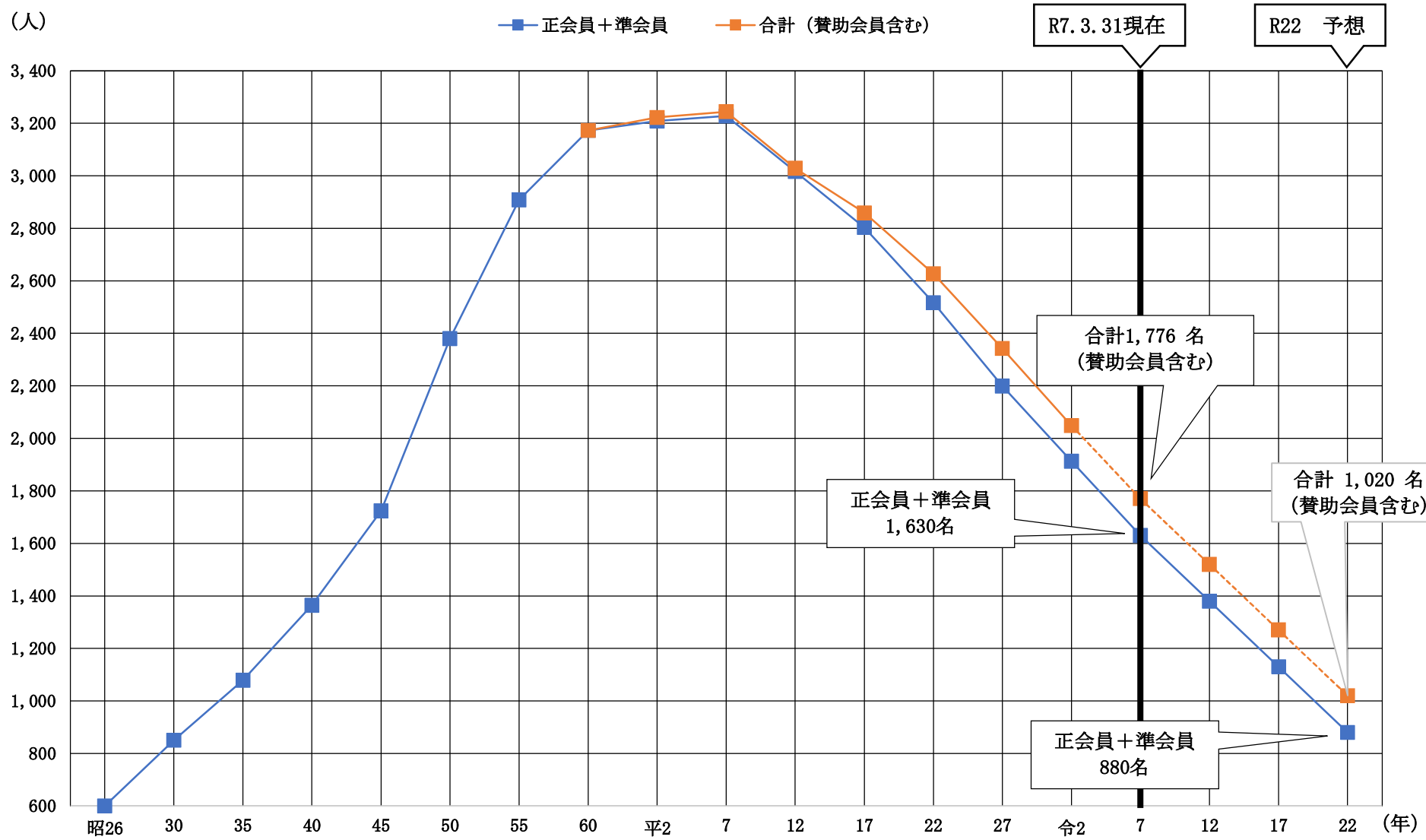
No	支部名	氏名	勤務先	紹介者	紹介者の役職	備考
1	県庁	荘司 泰久	(一財)茨城県建築センター	柴 和伸	会長	社員
2	賛助会	茨城県鐵構工業協同組合		柴 和伸	会長	
3	賛助会	茨城県塗装工業組合		柴 和伸	会長	
4	賛助会	(公社)日本建築家協会 関東甲信越支部 茨城地域会		柴 和伸	会長	
5	筑波	竹田 陽市	(株)相澤建築設計事務所	相澤 晴夫	副会長	所員
6	筑波	山形 郁夫	(株)相澤建築設計事務所	相澤 晴夫	副会長	所員
7	筑波	矢口 重文	茨城セキスイハイム(株)	相澤 晴夫	副会長	
8	筑波	長瀬 光昭	茨城セキスイハイム(株)	相澤 晴夫	副会長	
9	筑波	松本 浩司	坂東市役所	相澤 晴夫	副会長	
10	筑西	山中 陽子	(有)アーキテック	中山 和朗	常務理事	
11	県央	高島 浩司	(株)戸頃建築設計事務所	小川 憲一	総務委員長	
12	石岡	古木 いずみ	古木建設	三輪 清司	支部長	
13	土浦	井坂 公一	(株)インフィニート一級建築士事務所	永井 昭夫	支部長	
14	県央	櫻井 郁美	SaCRAFT建築設計事務所	石黒 洋子	総務委員	知人
15	県央	平戸 豊	(株)石川建築研究所	石川 啓司	支部常務	所員
16	県央	関 勇太	KITAI建築設計事務所	石井 邦明	研修委員	知人
17	県央	四ツ倉 昌佳	鈴縫工業(株)	和田 淳一	会員委員	社員
18	鹿島	久米 健一	(株)高正建設	高橋 文男	まちづくり委員	社員
19	県央	大橋 美幸	果実建築設計室	滑川 浩一	相談役	取引事務所
20	土浦	児玉 理文	あや設計 一級建築士事務	石坂 健一	元支部長	取引事務所
21	県庁	萩元 悠文	(株)安心確認検査機構	舞木 善郎	安心確認の役員	社員
22	筑波	戸塚 かおり	(株)安心確認検査機構	若柳 綾子	ヘリテージ	取引事務所
23	筑波	加藤 侑	(株)若柳建築事務所	若柳 綾子	ヘリテージ	所員
24	石岡	小田 邦江	(有)ナオエ総合設計	菊池 直衛	元副支部長	所員
25	日立	櫻岡 佳太	(株)白土工務店	先輩と交代	先輩	社員
26	竜ヶ崎	柳町 龍哉	(株)柳建設	先輩と交代	先輩	社員
27	常総	中山 佐登子	(株)染谷工務店	染谷 正昭	父	娘
28	賛助会	(株)関川畳商店		若林 純也	賛助会代表幹事	
29	賛助会	(株)テクニティ		若林 純也	賛助会代表幹事	
30	賛助会	(株)タナカ 住宅資材部門 茨城支店		潮田 充	元常務理事	
31	賛助会	コマツ茨城(株)		清水 洋一	会員委員	
32	賛助会	昭和工機(株)		設備設計協会の会員		
33	賛助会	宇賀神電機(株)茨城営業所		設備設計協会の会員		

会員数の変遷（級別・年齢別）・・・平成9年～令和7年度

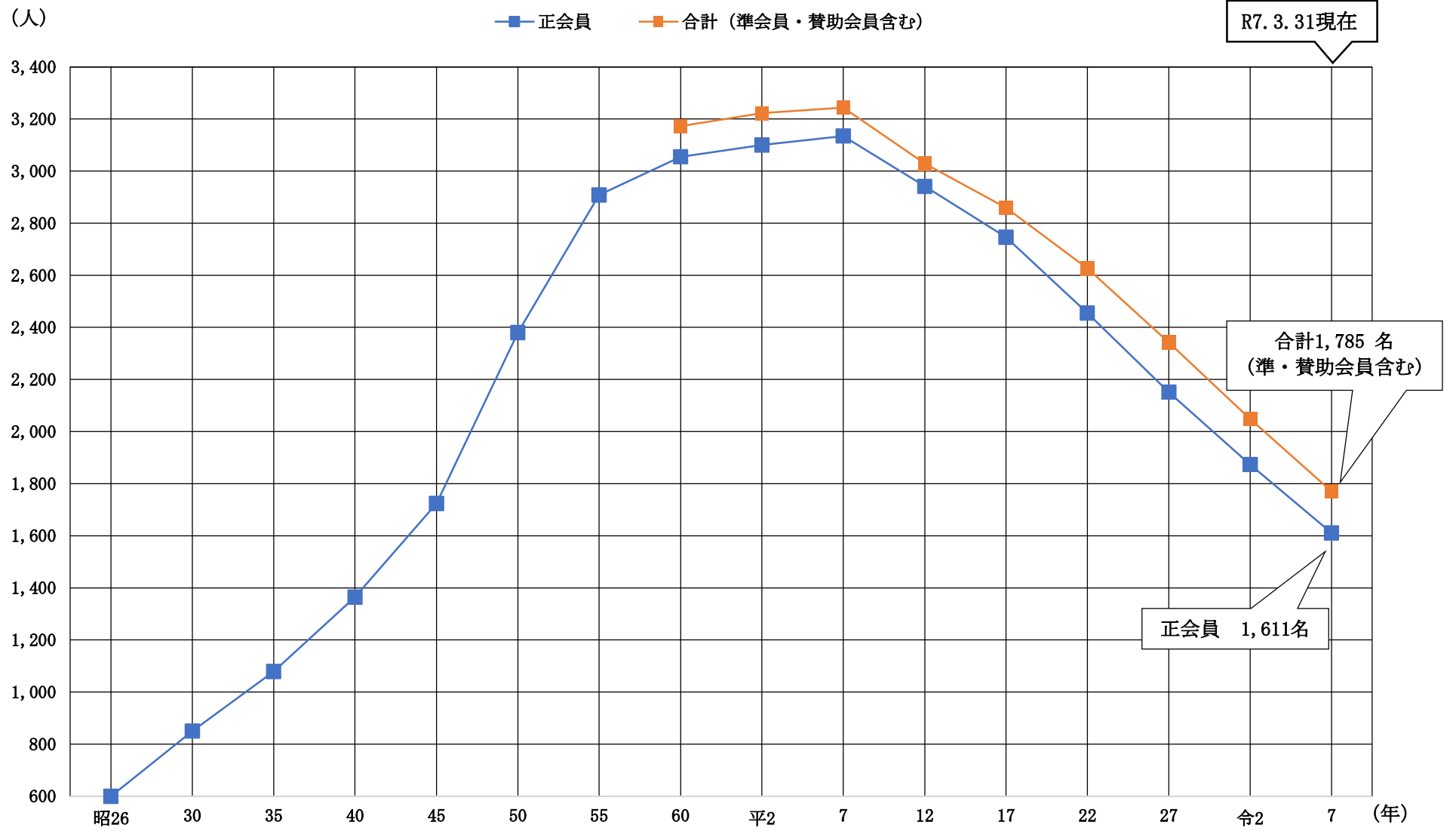
2025/10/27日（ ） 10:36分 発行

級別	平成9年3月31日		平成29年4月1日		令和5年2月15日		令和6年4月16日		令和7年10月15日						
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合					
一級	1,203	37.5%	1,254	59%	1,102	60.6%	1,062	61.7%	1,017	62.4%					
二級	1,867	58.1%	823	38.5%	668	36.8%	614	35.7%	570	34.9%					
木造	55	1.7%	14	0.7%	10	0.6%	7	0.4%	7	0.4%					
その他	87	2.7%	46	2.2%	37	2.0%	37	0.1%	37	0.1%					
計	3,212	100.0%	2,137	100%	1,817	100%	1,720	100%	1,631	100%					
年齢別	平成9年3月31日		平成29年4月1日		令和5年2月15日		令和6年4月16日		令和7年1月8日						
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合					
20歳代	194	6.0%	29	1.4%	7	0.4%	13	0.8%	11	0.7%					
30歳代	598	18.6%	242	11.3%	93	5.1%	71	4.1%	52	3.2%					
40歳代	1,144	35.6%	510	23.9%	363	20.0%	321	18.7%	276	16.9%					
50歳代	776	24.2%	534	25.0%	458	25.2%	426	24.8%	423	25.9%					
60歳以上	500	15.6%	822	38.5%	896	49.3%	889	51.7%	869	53.3%					
計	3,212	100.0%	2,137	100%	1,817	100%	1,720	100%	1,631	100%					
うち、女性		180名	8.4%	女性		159名	8.7%	女性		157名	9.1%	女性		151名	9.2%
60歳以上のうち、70歳以上・・・		162名		60歳以上のうち、70歳台・・・		325名	18%	60歳以上のうち、70歳台・・・		353名	20.5%	60歳以上のうち、70歳台・・・		362名	22.2%
80歳以上・・・		25名		80歳台・・・		41名	▲5名	80歳台・・・		41名	±0名	80歳台・・・		50名	+9名
90歳以上・・・		5名		90歳台・・・		2名	▲2名	90歳台・・・		2名	±0名	90歳台・・・		2名	±0名

会員推移 (5年きざみ) 令和22年までの予想



会員推移 (5年きざみ) 令和7年3月31日現在まで



一般の方へ

苦情解決業務 | お近くの建築士事務所 | リフォーム支援課

お近くの建築士事務所

茨城県建築士事務所協会所属の建築士事務所をお探しします。

条件を指定して絞り込む

水戸市

フリーワード検索

検索



検索結果

間建築設計室

所在地 〒310-0851 水戸市千波町2259-9

TEL 029-244-7628

FAX 029-244-7641

会員名 小野瀬 遼

(有)浅野建築設計事務所

所在地 〒310-0851 水戸市千波町2819-13

TEL 029-291-6918

FAX 029-291-6928

会員名 浅野 祐一郎

東建設(株)一級建築士事務所

所在地 〒311-4153 水戸市河和田町2996-9

TEL 029-253-2021

FAX 029-252-8483

会員名 小口 辰也

(株)安達建築設計事務所

所在地 〒310-0805 水戸市中央2-8-87(水戸第2ビル)301

TEL 029-246-6431

FAX 029-246-6432

会員名 安達 芳男

(株)アメニティ・ジャパン一級建築士事務所

所在地 〒310-0804 茨城県水戸市白鳥1-7-11

TEL 029-297-8885

FAX 029-297-8985

会員名 川上 英剛

一般の方へ

苦情解決業務 | お近くの建築士事務所 | リフォーム支店

お近くの建築士事務所

茨城県建築士事務所協会所属の建築士事務所をお探します。

条件を指定して絞り込む

つくば市 ▼ フリーワード検索 検索



検索結果

(株)相澤建築設計事務所

所在地 〒300-1256 つくば市森の里1169-2
TEL 029-876-0617
FAX 029-876-0679
会員名 相澤 晴夫

(株)青木住設

所在地 〒300-2645 つくば市上郷1351
TEL 029-847-2821
FAX 029-847-8314
会員名 青木 孝二

(株)青山建築設計事務所

所在地 〒305-0033 つくば市東新井14-3シ/ビル4F
TEL 029-851-7430
FAX 029-851-7600
会員名 青山 立美

(株)アゲル

所在地 〒305-0817 つくば市研究学園4丁目1-9
TEL 029-886-3221
FAX 029-886-3225
E-mail info@ager.jp
URL <https://www.ager.jp/>
会員名 デイトフォード黒

アトリエ03 建築設計事務所

所在地 〒305-0023 つくば市上ノ宮526
TEL 029-879-7077
会員名 岡野 貴之

(株)アルテック

所在地 〒305-0034 つくば市小野崎88-22
TEL 029-886-8099
FAX 029-860-6399
会員名 野河 徳輔

(株)andHAND建築設計事務所

所在地 〒305-0033 つくば市東新井29-13
TEL 029-855-3055

さあ、建築士会へ!!

茨城県建築士会では県内24支部および、青年・女性委員会などの各委員会において色々な研修・セミナーや交流活動を行っています。
また、会員限定の「けんぱい」建築士賠償責任補償制度も充実しています。

Home

建築士免許申請

会員の入会メリット

書籍・保険

お役立ち情報

アクセス

「士会員限定」トータルサポート
建築士業務に関する賠償保険や所得補償など

全国の建築士会

士会HP



(一社) 茨城県建築士会 入会申込書

紹介者会員				年 月 日本受付					
年 月 日 入会を申し込みます。									
フリガナ 氏 名	性 別		男 ・ 女						
生 年 月 日	昭和 平成	年 月 日	会 報 誌 送 付 先	自宅 ・ 勤務先					
現 住 所	〒 □□□□-□□□□		Eメール						
			T E L						
勤務先名称			Eメール						
勤務先住所	〒 □□□□-□□□□		T E L						
			F A X						
級 別	1 級 ・ 2 級 ・ 木造								
建築士免許 登 録 番 号	取得県 □□□□ 県	登 録 年 月 日	年 月 日						
支 部 名	支 部 長 印	会 員 種 別	正会員 ・ 準会員						
※事務局記載									
※会員番号	□□□□□□	※顔写真	□	※名簿	□	※会報	□	※入力	□

ご注意：記載は楷書で丁寧をお願いいたします。また、顔写真1枚を添えてください。

(一社) 茨城県建築士会 入会申込書

会員種別	賛助会員	申込年月日 年 月 日
(フリガナ) 事業所名	印	
(フリガナ) 代表者	郵送物宛名 <input type="checkbox"/>	
(フリガナ) 担当者	郵送物宛名 <input type="checkbox"/>	
所在地	〒□□□□—□□□□	
電話番号	() —	
FAX 番号	() —	
E メールアドレス		
HP アドレス		
事業内容		
紹介者		

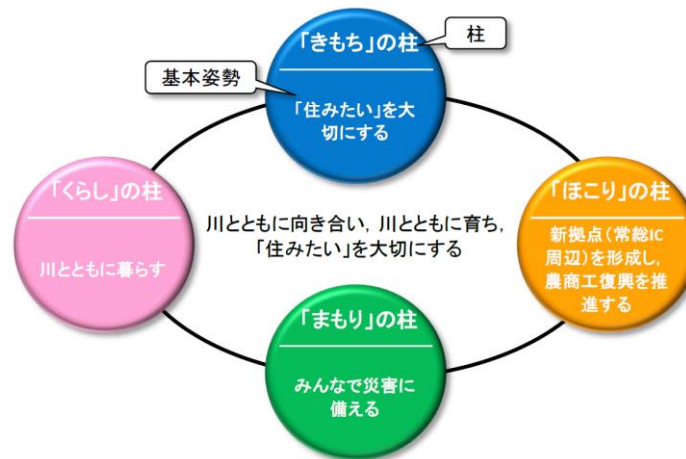
※ **入会金 1万円(初年度のみ)** **年会費 3万円**

※ 受付年月日 年 月 日

※ 受付 No. _____

復興計画4つの柱

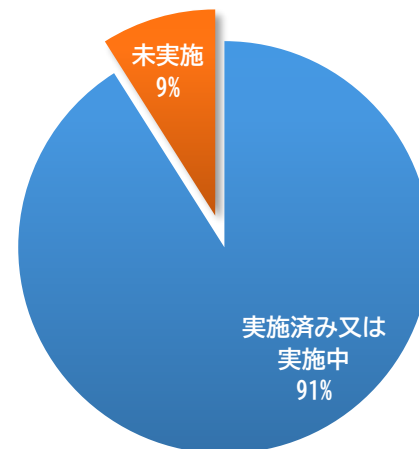
復興計画では、『川と向き合い、川とともに育ち、「住みたい」を大切にする常総』という基本理念に基づき、常総市が目指す復興の姿を4本の柱で示し、それぞれの柱に基本姿勢が定められています。



施策の実施状況

復興計画に掲げた全89施策のうち、計81施策(91.0%)について、様々な事務事業を実施いたしました。

なお、各施策ごとに実施した(又は実施している)事務事業を次ページ以降に示します。



柱	きもち	
目指す姿	市民がみな、常総のまちを愛し、人を愛し、明るい未来をイメージしている	
重点目標	施策名	重点目標に対する事務事業
住み続けたい、に伝える	住まいの総合相談	①空家等バンク創設
	空き家リニューアル促進	①空き店舗活用事業補助事業②空き家・空き店舗調査業務③空家等バンク活用支援補助金（リフォーム費用の一部補助）創設
	身近な生活環境の充実	①健幸クラウドシステム構築事業②健幸クラウド活用による「市民の健康と幸せを実現するまちづくり」事業③Smart Wellness City 首長研究会事業④カーブミラー・ガードレール・デリネーター・標識・外側線・グリーンライン設置及び撤去工事
	医療機能充実	①Smart Wellness City 首長研究会事業②健幸クラウド活用による「市民の健康と幸せを実現するまちづくり」事業③外国人に対する窓口業務での通訳及び行政文書の翻訳業務
	時代に即した公共施設の再整備	①公共施設白書・公共施設等総合管理計画の策定
戻りたい、住んでみたいを実現する	生活再建相談	①水害による全壊世帯に対するみなし仮設住宅の提供／民間アパート借上②被災者生活再建補助制度③被災世帯生活支援相談業務④地域の輪（絆）再生補助金
	多世代同居・近居支援	①若年夫婦世帯若しくは子育て世帯及び三世代同居・近居支援助成金交付事業／いきいき住マイル支援補助金②いきいき子育て住宅支援事業補助金
	よそもの・わかもの定住支援	①いきいき住マイル支援補助金②第2のふるさと・いばらきプロジェクト推進事業／常総市体験ツアー③つながる茨城チャレンジフィールドプロジェクト／モデルコースの検討／サイクリングロードマップ作成
	住宅ローン等優遇	①【フラット35】子育て支援型
ともに生き、絆を強める	世代間交流の推進	①市×良品計画×筑波大学による市営千代田団地コミュニティ再構築②復興のシンボル：豊田城のサービスイノベーション／常総市歴史資料デジタルアーカイブ／フリースペース設置③豊田城改革プロジェクト～市民が自慢できる「お城」を目指して～／デジタルミュージアム化
	国際交流の促進	①多文化理解講座／料理教室，国際交流サロンの運営②花いっぱいプロジェクト
	地元人材の国際化促進	①語学講座／ポルトガル語，英語，日本語教室の開催
	市民価値共創イベント	①常総鬼怒川花火大会及び市民の広場でのステージイベント
力を合わせる	情報発信力改革	①地域情報化促進のための公衆無線LAN（FREESPOT）サービスの提供／本庁舎・議会棟・石下庁舎・図書館②GIS（茨城デジタルマップ）を活用した市関連地図情報の市民への提供③行政組織機構改革／秘書課・広報推進室の設置
	未来を考える市民会議	①ファシリテーター養成講座
	地域おこし協力隊など外部人材の導入	①茨城県内地域おこし協力隊及び担当職員による意見交換会・交流会
	オリンピック・パラリンピックキャンプ地誘致	①キャンプ地誘致パンフレット作成事業
	PPP・PFIの先進都市の実現	①公共施設等マネジメントアドバイザー委託事業②サウンディング型市場調査の実施③トライアル・サウンディングの実施④公共施設マネジメント民間提案制度の導入⑤公共施設包括管理業務委託の導入⑥児童クラブ指定管理者導入事業⑦常総IC周辺整備事業／パートナー企業とのPPP官民連携事業
	クラウドファンディングによる復興の促進	①ふるさと納税制度の充実②義援金募金活動の推進
みらいにつなげる	常総未来学の促進	①高大官連携常総まちづくり提案事業／ワークショップ事業運営委託②茨城大学 国内実践教育演習
	電子図書館及び常総アーカイブ	①災害記録集「忘れない9.10」発刊②講演の実施（新任図書館長研修・図書館総合展・図書館地区別研修【関東甲信越静地区】で被災から復旧までの過程について講演）
	永年公文書保管体制の整備	①永年公文書保管体制の整備

柱	暮らし	
目指す姿	市民がみな、「川との共生」という原点に回帰し、常総だからこその日々の暮らしを堪能している	
重点目標	施策名	重点目標に対する事務事業
潤いのある市民生活を 取り戻す	市民のふれあい促進	①石下総合福祉センター運営②母子・父子家庭の集い
	地域包括ケアシステムの構築	①家族介護慰労金②介護保険利用料金助成扶助費③休日・夜間高齢者総合相談窓口設置④常総市在宅医療・介護連携支援センターの設置⑤在宅医療介護連携推進協議会設置⑥生活支援体制整備推進協議会（生活支援体制整備事業協議体）設置⑦認知症施策推進協議会（常総市認知症初期集中支援チーム検討委員会）設置⑧認知症初期集中支援チーム活動開始⑨地域ケア会議推進協議会設置⑩地域の高齢者総合相談窓口設置⑪総合事業／介護予防の普及啓発・介護予防・生活支援サービス等の提供⑫指定介護予防支援事業⑬包括的支援事業⑭在宅医療・介護連携推進事業⑮生活支援体制整備事業⑯認知症総合支援事業
まちを学び、川に学ぶ	小学校社会科副読本の活用	①小学校社会科副読本の活用／水害の記憶や災害に対する備えの追記
	歴史展覧会	①地域交流センターでの水害の歴史パネル展示
	「かわまち」の歴史教育	①地域交流センターでの水害の歴史パネル展示②復興のシンボル：豊田城のサービスイノベーション／防災教育用立体模型及び投影用映像作成
	水防学習館の設置	①新設した大生公民館での防災学習の実施②豊田城改革プロジェクト～市民が自慢できる「お城」を目指して～／デジタルミュージアム化（ヒストリーコレクションウォール（常総歴史絵巻）の設置）
水辺の安心と魅力を高める	河川クリーンプロジェクト	①小貝川クリーン作戦の実施②ボランティア団体等のごみ拾いに対するごみ袋提供及びごみ処理
	河川敷・土手道散歩道の整備	①花いっぱいプロジェクト②鬼怒川緊急対策プロジェクト+1／常総市かわまちづくり事業③鬼怒川・小貝川かわまちづくり推進協議会設置（沿川7市町）
	拠点となる水辺公園の整備	①桜づつみ維持管理業務
	水質浄化の推進	①河川水調査／鬼怒川・小貝川・飯沼川・東仁連川・八間堀川
川を楽しみ、健康で幸せになる	健康イベントの実施	①鬼怒川サイクルフェスタ2019（市×下館河川事務所）②小貝川堤防を利用したサイクリングイベント開催／鬼怒川サイクルフェスタと同時開催
	新たなスポーツ・コンテンツづくり	①鬼怒川サイクルフェスタ2019（市×下館河川事務所）／鬼怒川・小貝川堤防を活用したサイクリングイベントの企画開催
水害経験を資源に転じる	水害学習ツアー	①地域ボランティア団体によるツアー実施
	水害復興駅伝・マラソン大会	①常総市復興応援＜絆＞駅伝大会
	復興プロスポーツイベントの誘致	①北海道日本ハムファイターズによる野球教室②スポーツによる地方創生官民連携プラットフォーム設立
	「映画を作ろう！」	①映画「自助論」作成支援

柱	まもり	
目指す姿	市民がみな、まさかに備え、いざという時に行動できる、常総ならではの「守り」の力を手にしている	
重点目標	施策名	重点目標に対する事務事業
丈夫なふるさととの基盤づくり	避難施設・避難所の整備	①災害時情報伝達手段等の高度化事業による災害対策本部代替場所へのW i f i 整備②避難所となりうる民間企業との災害協定の推進
	防災・避難拠点の形成	①防災倉庫設置・防災資機材等の備蓄②常総 I C 周辺整備事業／防災機能を含む道の駅整備の推進／防災道の駅への検討③地域コミュニティの再構築と災害に強い小さな拠点づくり事業／大生公民館
	河川防災ステーションの整備	①既設水防倉庫への土のう袋備蓄
	排水施設整備と広域排水計画の推進	①江連都市下水道浚渫（しゅんせつ）事業
安全でスマートな空間づくり	土地利用計画の見直し	①農業振興地域整備計画（除外・変更）
	農業土地改良の促進	①県営畑地帯総合整備事業（鴻野山地区）②三坂地区経営体育成基盤整備事業
	コンパクトシティの実現	①立地適正化計画検討委員会設置／常総市立地適正化計画策定中
	スマート交通システムの実証実験の導入	①交通事故ゼロ・防災減災機能を果たす安全安心なモビリティインフラの実装に関する筑波大学との共同研究（筑波大学へ職員を派遣）
日頃から減災のための人づくり （防災先進都市の実現）	地域防災計画・関連マニュアルの作成	①地域防災計画改訂②業務継続計画（BCP）策定③各種災害業務マニュアル作成④洪水ハザードマップ作成
	自ら考え、行動できる防災教育	①ふるさとまつり消防コーナー②秋春季火災予防運動③一人暮らし老人防火訪問④防災訓練／緊急参集・災害対策本部の設置及び運営・図上訓練⑤鬼怒小貝水防訓練⑥消防出初式／幼稚園児による「防火の誓い」「火の用心の歌」の演技実施⑦常総市小中学校一斉防災学習／防災ゲーム及び水害等想定での防災訓練⑧防災士育成事業⑨地域防災協力員の委嘱⑩常総市総合防災訓練⑪復興のシンボル：豊田城のサービスイノベーション／防災教育用立体模型及び投影用映像作成
	災害情報システムの再整備	①小型気象観測計の設置②国と連携した洪水時情報伝達訓練③茨城県と連携した防災図上訓練等④タイムライン（鬼怒川・小貝川）策定⑤被災者支援システム導入⑥マイ・タイムライン検討会⑦災害時情報伝達手段等の高度化事業⑧防災行政無線の運用⑨緊急通報システム設置事業⑩住宅用火災警報器購入助成事業
	まるごとまちごとハザードマップの作成	①電柱への洪水推定浸水深表示
	中小企業・福祉事業所等の災害対応力向上	①要配慮者の避難施設として民間社会施設等を使用することに関する協定締結
	防災教育日本一の実現	①常総市小中学校一斉防災学習／防災ゲーム及び水害等想定での防災訓練②市教育研究会に特別委員会として「防災教育委員会」を設置③筑波大学・茨城大学との連携による防災教育④河川事務所との協力連携による防災教育 ①「常総市小・中学校防災教育年間計画集」の作成②各学校での防災・減災教育に関する授業づくり（児童生徒・地域と共に考え高める防災・減災意識）③復興のシンボル：豊田城のサービスイノベーション／防災教育用立体模型及び投影用映像作成
地域で助け合うコミュニティづくり	集会所（コミュニティ）機能の充実	①地元管理の集会所整備事業
	地域支え合いボランティアの育成	①ファシリテーター養成講座
	共助体制の整備	①自主防災組織結成に向けた研修会②自主防災会を対象としたD I G 訓練③自治区への加入促進
	地域コミュニティの重点支援	①自主防災会防災訓練指導・助言②自主防災会補助金交付事業③自治区への助成金交付④地域コミュニティの再構築と災害に強い小さな拠点づくり事業／大生公民館
市を越え支え合う連携づくり	近隣自治体との災害連携協定の推進	①広域避難計画の策定及び災害協定締結
	民間との災害連携協定の推進	①民間企業との災害協定の締結
	災害支援プロジェクトチームの常設	①職員O B による災害ボランティア行政支援隊の設立②防災職員研修会の実施
	公共交通の広域連携	①常総線支援活性化協議会／マクラギを木製からコンクリート製に更新するための支援②地域公共交通広域連携交通網の形成に関する調査③地域公共広域連携事業
	友好都市の締結	①水害サミット・住民の幸福実感向上を目指す基礎自治体連合「幸せリーグ」加盟による防災協定の研究・推進

柱	ほこり	
目指す姿	市民がみな、常総の「強み」を理解し、力をあわせてさらなる発展を目指している	
重点目標	施策名	重点目標に対する事務事業
常総インターチェンジ周辺の食農・防災拠点づくり	アグリサイエンスバレーの推進	①圏央道常総IC周辺整備事業／アグリサイエンスバレー構想による土地区画整理事業・産業団地整備の推進や6次産業化に向けた事業化の推進（道の駅・大規模施設園芸・観光農園）
	産業・営農団地の整備	①圏央道常総IC周辺整備事業／アグリ構想による市街化区域編入と土地区画整理事業・産業団地整備の推進②圏央道常総IC周辺整備事業／アグリ構想による農地エリアでの土地改良事業・営農団地の推進
	防災機能を持つ「道の駅」の整備	①行政組織機構改革／産業拠点整備課・道の駅整備推進室設置②圏央道常総IC周辺整備事業／アグリ構想による6次産業化に向けた事業化の推進（道の駅整備の推進）／防災道の駅の検討
	市民参加型ミニマムショップの促進	①市民の広場での常総朝市の実施
農業を再建し、復興する	地域農業戦略の策定と実施	①次世代農業研究会
	中核的な農業者の育成	①認定農業者の会研修
	農業従事者の定着支援	①農業振興事業／農業次世代人材投資資金②がんばる農家応援事業③新規就農者農地等賃貸料助成事業
	農業経営基盤の強化	①農業経営基盤強化資金利子補給金②農業振興事業／農業経営基盤強化③農地耕作条件改善／畦畔除去④農地集積事業/機構集積協力金（農地中間管理事業）⑤県営畑地帯総合整備事業費（鴻野山地区）⑥荒廃農地等利用交付金の交付⑦農地利用最適化推進委員による担い手への農地利用集積・集約化の推進
	水田から畑作への転換，農産物の輸出支援	①がんばる農家応援事業②圏央道常総IC周辺整備事業／アグリ構想による農地エリアでの事業化の推進（大規模施設園芸）
商工業を再建し，復興する	事業再開，継続への支援	①緊急対策融資保証料助成金②緊急対策融資利子補給助成金
	新たな事業展開等の支援	①常総創業・経営革新塾／創業支援セミナー
農商工連携と世界展開を支援する	アグリ・テクノロジーの導入支援	①次世代農業EXPO（エクスポ）の視察研修
	6次産業化・農商工連携の支援	①圏央道常総IC周辺整備事業／アグリサイエンスバレー構想による6次産業化の事業化推進（道の駅・大規模施設園芸・観光農園）
	安全・安心な常総ブランドの確立と発信	①県内外での農産物PRイベント
	グリーンツーリズムの推進	①水海道あすなろの里の運営②圏央道常総IC周辺整備事業／アグリ構想による6次産業化の事業化推進（観光農園など）
	常総発の食農の開発支援	①がんばる農家応援事業
	グローバルにがんばる企業応援	①次世代農業研究会②常総創業・経営革新塾／創業支援セミナー
若者・後継者のネットワークづくりを支援する	アグリビジネスの雇用支援	①アグリビジネスフェアの視察研修
	人材の育成支援	①常総創業・経営革新塾／創業支援セミナー②「ビジネス支援コーナー」の充実
	ベンチャー営農活動拠点の構築	①圏央道常総IC周辺整備事業／農地エリアでの事業化検討（チャレンジファームなど）

2026年2月 わくわくセミナーのお知らせ

(一社)茨城県建築士会 女性委員会
女性委員長 大谷 美由紀
担当 若柳 綾子



『古民家の構造の成り立ちパートII』 ～昨年度大好評の第2弾～

古民家の再生のとき
趣を残して現行法にを順守するには？

昨年度大好評のセミナーを聞き漏らした方も
さまざまに工夫した手法を学びたい方も
下記により具体的なご説明を頂きますので
奮ってご参加くださいませ。

記

日時：2026年3月4日（水）
19:00 ～ 21:00

会場：土浦市三中公民館 1F 第2学習室

〒300-0843土浦市中村南4-8-14 TEL：029-843-122

講師：安藤 邦廣先生

筑波大学名誉教授 高額博士
里山建築研究所 主宰



会費：無料（飲み物付き） 建築士会員以外の方は1,000円

※ 参加申込みは、下記へFAX又はメールにて、**2月24日（火）**までをお願いします。

※ 申込先 (一社)茨城県建築士会事務局 (TEL：029-305-0329)

FAX：029-305-0330

E-mail：ibashikai0329@nifty.com

☆ 事前準備について、ご質問がある方は、事務局までお問合せ下さい。☆

3月4日（水）の わくわくセミナー に 参加 します

支部名 _____ お名前 _____ CPD登録 有 ・ 無

当日の連絡先(携帯番号等)

資料準備の都合上、キャンセルされる方は事前にご連絡をお願いします。

◆事前質疑受付中（訊いてみたいことをご記入ください）

令和7年度三支部合同講習会について

令和7年12月吉日

茨城県建築士会 鉾田支部 鹿島支部 行方支部
担当 行方支部

寒冷の候、皆様におかれましてはますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。日頃三支部の活動にご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

誠に恐縮ではございますがこの度、三支部合同講習会を2月26日に開催予定しております。本年4月に建築基準法が大きく変わり2階建住宅200㎡以内の新2号建築物については戸惑いがあります。

そこで特に新2号建築物について建築指導課のご担当者様に講師をお願い致しました。ご多忙の折、大変恐縮ですが会員の皆様及び建築関係の皆様にも多数のご参加をお願い致します。

記

- 主催：(一社)茨城県建築士会 鉾田支部・鹿島支部・行方支部
担当：行方支部
- 日時：令和8年2月26日(木曜日) 13時30分～15時30分
- 会場：茨城県生涯学習センター レイクエコー 講習室2
- 目的：建築士会会員及び建築関係従事者のスキルアップ
- 対象：鹿行地域で業務をおこなっている建築士並びに建築関係従事者
- 内容：新2号建築物について (建築基準法の法令集をご持参下さい。)
- 料金：建築士会会員1,000円 会員外2,000円(資料代として)

資料印刷等の準備の都合上、令和8年2月13日(金曜日)を締切とさせていただきます。

鉾田支部・鹿島支部・行方支部の会員の方は所属の支部事務局まで連絡してください。

建築士会会員で三支部以外の方又は会員以外の方は

行方支部事務局 宮内隆治設計事務所 宮内隆治 TEL&FAX：0291-35-1598
携帯：090-1891-7146

上記にご連絡ください。よろしくお願い致します。



これから求められる学校建築とは？

- 学 び の 多 様 化 が は か ら れ る 時 代 に -

日本では2020年に教育指導要領が改訂され「主体的・対話的で深い学び」が重視されるようになりました。同時に、戦後建てられた校舎の建て替え時期をむかえ、多様な授業形態をうけとめる学習空間が求められるようになってきました。

このセミナーでは、今後日本で学校建築を計画する上で、どのような考え方やアイデアがあるか、日本、北欧、オランダ、ウィーンやミュンヘンの先進事例を交えてご紹介します。

開催日時

2026.2.18 Wed 18:30-20:00

開催場所

ザ・ヒロサワ・シティ会館 (旧茨城県民文化センター) 分館1階 集会室9号

講師

垣野 義典

Kakino Yoshinori

東京理科大学創域理工学部建築学科 教授

1975年 京都市生まれ

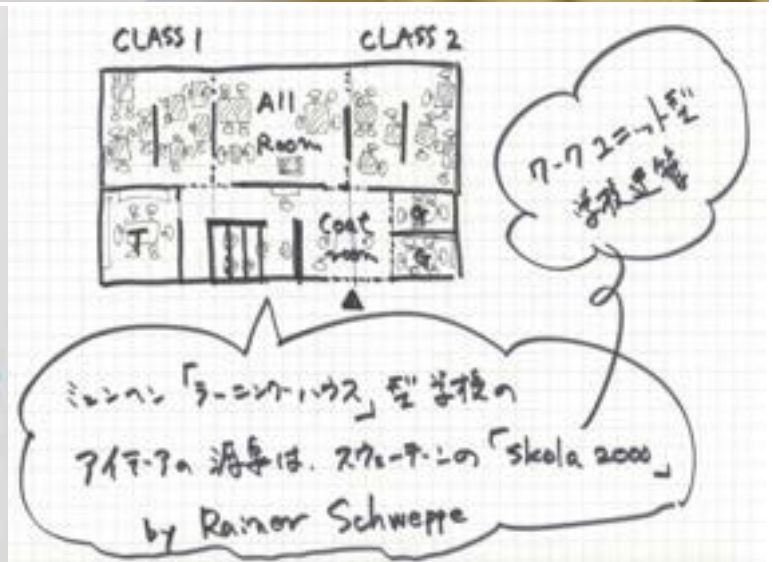
2001年 東京理科大学大学院理工学研究科建築学専攻修了

2004年 東京大学大学院工学研究科建築学専攻修了

東京理科大学理工学部建築学科助教、フィンランド・アアルト大学(旧ヘルシンキ工科大学)客員研究員、豊橋技術科学大学准教授を経て現職。

専門は建築計画学(学校などの教育施設の計画・設計)および環境行動学。





定員 60名
参加費 会員及び同行者 1,500円
 一般 2,000円
 学生 無料
 当日徴収(釣銭の無いようにご用意ください)
 ※学生の方は後方の座席、または定員が超過した場合は立見になることをご承ください
申込締切 2026年1月30日(金)
CPD 2単位

申込方法 氏名、勤務先、CPD 番号、電話番号、メールアドレスを記入し、下記宛にメールまたは FAX にてお申し込み下さい
 宛先 茨城県建築士会県央支部
 メール mito-shikai@air.ocn.ne.jp
 FAX 029-228-5674
お問合せ 茨城県建築士会県央支部(平日9:00-15:00)
 水戸市中央1-4-1水戸市役所建築指導課内
 TEL 029-224-1111
 携帯 080-4959-8339

参加者氏名	勤務先	CPD 番号	電話番号	メールアドレス	支部名

第19回市民シンポジウム

「第2回長屋門サミット」

—長屋門の情報共有と維持継承活用に向けて—

つくば市には200を超える長屋門が現存し、大切に継承されています。もちろん、国内にはつくばに匹敵する、あるいはそれ以上の密度で長屋門が残る地域も少なからず存在します。

2025年2月に開催した第1回長屋門サミット（第18回シンポジウム）では、各地（陸前、宇都宮、渥美半島、つくば）の関係者が集まり、長屋門の維持・継承・活用について議論しました。各地の長屋門の系譜や特徴を共有する一方で、「活用に向けた取り組みは道半ばである」ことを確認し、議論の継続（サミット継承）の必要性を共有しました。

これを受け、**第2回長屋門サミット**を開催します。今回は、前回参加の陸前、つくばに加え、新たな地域（和歌山県紀の川、茨城県真壁）の関係者を招いて現状や課題を共有します。各地域における話題や具体的な取組事例の紹介などを通して、長屋門の維持・継承・活用に向けた、より具体的かつ深化した議論を行うことを目指します。

日時

2026年

2月14日(土)

13:00~16:00

(開場：12:30)

参加費
無料

会場

コリドイオ3F 大会議室【定員】100名

つくば市吾妻一丁目10番地1 (先着順)



つくば地区（茨城県）
「NPO法人つくば建築研究会」



真壁地区（茨城県）
「ディスカバーまかへ様ご提供」

長屋門を
巡る



紀の川市（和歌山県）
「門リトリートサロン 有園様ご提供」



栗原市（宮城県）
「（一社）くりはらツーリズム
ネットワーク様ご提供」

長屋門を
活用する

つくば
建築
研究会

主催：NPO法人つくば建築研究会
共催：つくばまちなかデザイン株式会社※
後援：茨城県、つくば市※つくば市商工会

※:申請中

参加申込は
こちら⇒



メール、faxでの申込方法は裏面

プログラム

◆13:00 開会

- 主催者挨拶 NPO法人つくば建築研究会理事長 坊垣 和明

◆13:10 茨城県における長屋門の実態・活動等の紹介

- 真壁地区ー30年に及ぶ街並み保存・活用等の紹介ー
ディスカバーまかべ会長 吾妻 周一
- つくば地区ーつくばの長屋門の紹介、みちあるき報告ー
つくば建築研究会理事長 坊垣 和明

◆13:50 長屋門活用に向けた具体の取組

- 紀の川市(和歌山県)ーもん泊構想、関連イベントの紹介ー
門リトリートサロン 有菌 光代
- 栗原市(宮城県)ー栗原地域における取組の現状、課題等の紹介ー
(一社)くりはらツーリズムネットワーク 代表理事 大場 寿樹

◆14:30 休憩

◆14:50 トークセッション

- 講演に対するコメント、市の取り組み等
つくば市長 五十嵐 立青
- 講演に対するコメント及びもん泊等イベント・事業の可能性、
具体化の提案等 (株)マクアケ顧問 坊垣 佳奈
- 登壇者4名および会場参加者を加えて意見交換 進行 NPO

◆16:00 閉会

会場の大会議室は「コリドイオ」3階にあります。

<https://www.city.tsukuba.lg.jp/material/files/group/183/corridoio.pdf>

アクセス：つくばエクスプレス線「つくば駅」A3出口から徒歩約3分

お車で来られる方は、近隣の有料駐車場をご利用下さい。

申込み方法：シンポジウムにご参加を希望される方は、「ご氏名（ふりがなとも）、Tel.、e-mail、参加人数」を、メール（info@tsukuba-arch.org）またはFax.(029-886-8035)で研究会にお送りください。

*頂いた個人情報は、本シンポジウム運営の他、つくば建築研究会の業務（刊行物等の発送、イベント情報発信など）において活用させていただきます。第三者への提供・譲渡を禁じ、外部への流出のないよう管理いたします。ただし、法令の定めるところにおいて、必要が生じた場合は、この限りではありません。

2/17 (火) 14:30 ~ 16:00

筑波銀行つくば副都心支店 2F セミナールーム

遮熱

参加
無料

塗料
勉強会

このような皆さまにおすすめです！

空調コストの削減をしたい皆さま
建築・設計に携わる皆さま
省エネに興味がある皆さま



- ✓ 室内温度環境の解決策が欲しい！
- ✓ どんな遮熱塗料を選んだらいいか知りたい！
- ✓ 「塗装・塗料」という方法でいいのか不安！

【勉強会について】

2026年2月17日(火) 14:30 ~ 16:00

講師：エスケー化研(株) ご担当者様

会場：筑波銀行つくば副都心支店 2F セミナールーム
(つくば市研究学園 5-20-1 つくば市役所前交差点)

※隣接コインパーキングをご利用ください

※建物から遠い場所への駐車にご協力願います

【お申込・お問合せ】

いばらき脱炭素社会実現研究会事務局

担当：高羽(たかは)

メール：low.carbon.ibaraki@gmail.com

電話：080-2294-2301 (高羽携帯まで)

第2回「茨城の森林資源を活かした持続可能な地域づくり」 県北の防災、経済、コミュニティづくりを森林資源から考える

【日時】2026年2月19日(木)14:00~16:30 開場 13:45

【会場】水戸市民会館 小ホール

【申込】不要 【参加料】無料

第1部 講演

1. 「県北地域の地盤防災と地盤保水の重要性
～森林管理による保水性改善～」
小林 薫 茨城大学応用理工学野教授
2. 「茨城県における森林管理の取組」
細田 浩司 茨城県農林水産部林政課長
3. 「自然資源を生かして生きる
～茅葺き古民家での暮らしから見えてきたこと～」
的場 悠人 大子町「みょうがの里」代表
4. 「木材の流通・加工の現状と課題」
野上 満正 茨城県木材協同組合連合会 代表理事
5. 「木造集合住宅の設計提案」
茨城大学工学部都市システム工学科建築プログラム2年生

昨年につき、本シンポジウムでは、茨城県県北エリアの森林資源に焦点を当て、これまでの研究成果や専門家の知見を共有します。森林資源の保全や管理、木材利用、スローライフを共有しながら、防災、経済、コミュニティ形成の観点から持続可能な地域づくりを考えます。今後、このテーマのシンポジウムを継続的に開催する予定です。市民、学生、自治体職員、林業・建設業関係者など多くのご参加をお待ちしております。

第2部 パネルディスカッション

コーディネーター：熊澤貴之 茨城大学工学部附属都市・地域デザイン教育研究副センター長／茨城大学応用理工学野教授
「防災、経済、コミュニティ形成の視点で森林資源活用を考える」

主催 茨城大学工学部附属都市・地域デザイン教育研究センター

後援 茨城県、(公社)茨城県森林・林業協会、茨城県森林組合連合会、茨城県木材協同組合連合会、

(一社)茨城県建築士会、(一社)茨城県建築士事務所協会、(公社)JIA 関東甲信越支部茨城地域会、

日本建築学会関東支部茨城支所、茨城大学工学部都市システム工学科/大学院理工学研究科都市システム工学専攻

問い合わせ先 茨城大学工学部総務係 Tel:0294-38-5032、E-mail:kougaku.soumu@ml.ibaraki.ac.jp